

総合計画	南会津町総合振興計画施策マネジメントシート			令和 3 年度作成
目標の柱	3	誰もが健やかで安心して生活できる環境づくり	課 主管課・係	係 住民生活課 消防交通係
基本目標(政策)	3-4	安全で快適な生活環境を形成します	関係課・係	
基本計画(施策)	3-4-2	・犯罪や災害から地域を守る体制づくりと消費者の安全確保		

### 【施策の目的と取組・現状分析】

1	施策の目的(対象・意図)は何ですか? ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。	①町全体の防災意識が高揚し、日常的に災害に備える体制ができる。 ②町全体の交通安全・防犯等に対する意識が高まり、社会的弱者への配慮がなされる。																																								
2	「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか?	▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか?箇条書きで記載してください。 ①町民の生命・財産を災害から守るために、「自助」「共助」「公助」の調和のとれた防災体制を確立すること。 ②地域全体で交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない町を目指すこと。 ③関係機関との連携を図り、犯罪の抑制や消費者保護のための対策を推進し、安全・安心な生活ができる町にすること。																																								
3	成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 交通事故件数</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>B 火災発生件数</td> <td>件</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>C 各集落自主防災組織</td> <td>件</td> <td>54</td> <td>72</td> <td>54</td> <td>60</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>D なりすまし詐欺事件数</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	評価	単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 交通事故件数	件	0	0	1	0	0	B 火災発生件数	件	4	0	3	0	0	C 各集落自主防災組織	件	54	72	54	60	72	D なりすまし詐欺事件数	件	0	0	0	0	0
評価	単位	令和元年度			令和2年度		令和3年度	令和4年度																																		
		実績値	目標値	実績値	目標値	目標値																																				
A 交通事故件数	件	0	0	1	0	0																																				
B 火災発生件数	件	4	0	3	0	0																																				
C 各集落自主防災組織	件	54	72	54	60	72																																				
D なりすまし詐欺事件数	件	0	0	0	0	0																																				
4	成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか?	5 令和3年度の目標値達成の見込みと方向付け ▼その理由として考えられること 見込み ▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																								
A	④ 下回った 交通事故の件数・傷者数は前年より下回ったが、残念ながら1名の死者が発生した。	③ 取組改善で達成可能 引き続き関係機関との連携を常に図り、交通安全啓発活動に取組む。																																								
B	④ 下回った 消防団による火災予防啓発や、防災行政無線による注意喚起により昨年度から件数は減少した。	③ 取組改善で達成可能 引き続き関係機関との連携を常に図り、消防団による夜警などの火災予防活動に取組む。																																								
C	④ 下回った 新たに取組む地区がなかった。	③ 取組改善で達成可能 集落応援交付金事業と連携し、地区的防災力向上に取組む。																																								
D	③ ほぼ目標値どおり なりすまし詐欺に対する町民の意識が高まったため。	② このままで達成可能 引き続き関係機関との連携を常に図り、啓発活動に取組む。																																								
6	施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか?	・交通関係団体と連携した各季における交通安全啓発活動や、カーブミラー等の交通安全施設の整備に努めた。 ・消防団で毎月15日を「防火の日」と定め、地区において夜警活動を実施。また、乾燥時期は防災行政無線による注意喚起放送を実施した。 ・防災ハザードマップの作成、配付や、広報みなみあいづへの防災に関する記事掲載。																																								
7	町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・カーブミラーなどの交通安全施設や、消火栓、防火水槽などの消防水利施設、防犯灯の設置などは、各地区からの要望を受けて設置や整備、補助に取組んでいる。																																								

### 【施策の振り返り】

8	「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)  『成果』  ・町内の交通事故件数は令和元年度から減少(19件→5件)した。 ・火災発生件数が令和元年度から減少(5件→3件)した。 ・防犯灯のLED化が進み、地域における防犯意識が高揚した。  『課題』  ・地区によっては防災に対する意識に温度差があると思われる。町全体の防災意識を高める取組を進める必要がある。 ・人口減少、少子高齢化などの要因による消防団員数の減少が顕著であり、それに伴う地域防災力の低下が懸念される。
9	本施策の類似性  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・防災や交通安全、防犯等の施策は、地域(地区)が一体となって取組むべきことであり、町としても積極的に支援や活動しやすい環境整備を推進していく必要がある。 ・地域で取組むという観点から見ると、地域の活性化=防災等の体制強化につながるものと思われる。
10	本施策の効率性  ・交通安全対策や防犯対策などは、既に地域における各種団体と連携しながら実施しているところであり、今後も連携を深め取組んでいく。 ・地域における防災力の向上は、地区が自主的、自立的に取組んでいくことで、より効果が上がることから、各地区の取組を支援していく体制の整備が必要である。 ・消防団体制についても、現状を踏まえ改善すべきところは改善し、活動しやすい体制を目指す。

### 【結論として…(施策の振り返りも踏まえて)】

11	自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性  安全・安心して生活できる環境の整備は、町民の豊かな暮らしにとって必要不可欠なものであり、防災や交通安全、防犯等の取組について、町と地域(地区)、関係機関が連携し、引き続き推進していく必要がある。
----	--

本資料は、適正に作成しました。	担当課長氏名 渡部 秀介
-----------------	-----------------

## 12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和3年度新規事業に ★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額		
01	消防車両格納庫整備事業	住民生活課	目的	各支団において、消防屯所や消防車両格納庫を更新し、消防団員の拠点施設の確保と消防力の強化を図る。				
			概要	消防団各部の消防屯所等を計画的かつ効率的に更新する。				
			成果	令和2年度は藤生消防屯所移転予定地の不動産鑑定を実施した。				
		消防交通係	問題	消防団の現状や公共施設等総合管理計画等との整合性を勘案した施設の適正配置・更新と、それを可能とする財源の確保。				
			対策	①継続 消防団の現状を踏まえ、組織再編も検討しつつ、効果的な消防施設の配置・更新を行う。				
			事業費	0	217	58,716	25,000	
02	消防車両整備事業	住民生活課	目的	経年劣化により老朽化している消防車両を更新する。				
			概要	消防団各部の消防車両を計画的かつ効率的に更新する。				
			成果	令和2年度は更新せず。				
		消防交通係	問題	消防団の現状を踏まえた適正な車両の配置・更新計画の立案と、継続して更新していくための財源の確保。				
			対策	①継続 消防団の現状を踏まえた適正な消防車両の配置・更新を行う。				
			事業費	22,407	0	25,379	45,000	
03	消防施設整備事業	住民生活課	目的	消火活動に必要な水利の確保が困難な地区に対し、防火水槽や消火栓の整備を進める。				
			概要	水利の確保が困難な地区に対し、計画的かつ効率的な整備を進める。				
			成果	令和2年度は藤生地区に消火栓1基を新設、松戸原地区の消火栓3基を更新した。				
		消防交通係	問題	地域の要望と現状に沿った効果的な整備と、それを可能にする財源の確保。				
			対策	①継続 現施設の維持管理に努めるとともに、地域の実情を把握し、必要な施設について計画的に整備を行う。				
			事業費	0	3,443	1,800	1,500	
04	防犯灯設置費補助金	住民生活課	目的	夜間における犯罪の発生防止と通行者の安全を確保する。				
			概要	防犯灯を設置・更新する際の経費に対し、補助金を交付する。				
			成果	夜間における通行者の安全が確保され、町民の生活環境が改善された。また、LED化の推進により、各地区における防犯灯の電気料の負担軽減にも寄与している。				
		消防交通係	問題	館岩・伊南・南郷地域はほぼLED化率100%となり、残る田島地域のLED化を推進していく必要がある。 今後はLED化された防犯灯の更新に対する補助について、補助金要綱の見直し等を行う必要がある。				
			対策	①継続 各地区的実情を把握しつつ、財源を確保し、計画的な設置・更新を推進していく。				
			事業費	1,477	759	900	900	
05	南会津町防災力強化事業	住民生活課	目的	地域防災計画に基づき、地域防災力の充実を図る。				
			概要	地域防災計画に基づく各種防災体制の整備・強化を行う。				
			成果	令和2年度は田島地域の防災ハザードマップを作成・配付し、防災意識の高揚が図られた。				
		消防交通係	問題	避難場所など町全体の防災体制の振り返りを行うとともに、各地区における「自助」「共助」の取組の推進が必要となってくる。				
			対策	①継続 地域防災計画の内容を見直すとともに、各地区においては作成したハザードマップ等を活用した自主防災体制の確立、地区防災計画の策定を推進していく。				
			事業費	5,445	6,435	0	0	
06	防災備蓄用品整備事業	住民生活課	目的	大規模な災害に備え、孤立する可能性のある指定避難所へ防災備蓄用品(保存食・飲料水)を整備する。				
			概要	避難所等に防災備蓄用品の整備を行う。				
			成果	防災備蓄用品(食料・水)を整備し、災害時の応急対応が可能となった。				
		消防交通係	問題	備蓄用品の種目の拡充と計画的な更新に努めるとともに、現在、分散して保管している備蓄用品を一括して保管できる備蓄倉庫の整備が喫緊の課題である。				
			対策	①継続 備蓄倉庫の整備を図るとともに、備蓄用品の効果的・計画的な整備・更新を図る。				
			事業費	401	401	425	425	
07	防災訓練事業	住民生活課	目的	災害時に備え、地域住民がどのような行動をとるべきか検証する。				
			概要	4地域持ち回りでの町防災訓練を実施する。				
			成果	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた職員対象の避難所開設訓練を実施し、開設手順を確認した。				
		消防交通係	問題	地域の実情や災害特性に対応した、より実践的な訓練の立案・実施が必要。				
			対策	①継続 現行の訓練を継続しつつ、各地域における防災訓練の実施について検討を進める。				
			事業費	0	0	0	0	
08	防災行政無線設備更新事業	住民生活課	目的	防災行政無線設備の更新を行い、防災力の向上を図る。				
			概要	多様な情報伝達を可能とするシステム導入及び南郷地域の防災行政無線設備の更新を行う。				
			成果	令和2年度は防災行政無線親局設備の更新を行い、登録制メールやエリアメールとの連携が図られ、災害時における多様な情報伝達手段の確保が図られた。				
		消防交通係	問題	田島地域における防災行政無線設備(屋外拡声子局等)は、設置後10年以上を経過していることから、今後、経年劣化による設備更新が必要となってくる。				
			対策	①継続 現行設備の維持管理に努めていく。				
			事業費	0	167,673	250,169	0	

09	町交通安全対策協議会補助金事業	住民生活課	目的	町内の交通の円滑化と交通事故の防止に関する総合的な対策を推進する。			
			概要	町の交通安全対策協議会へ補助金として、その運営を支援する。			
			成果	交通安全啓発活動を行うことにより、交通安全に対する意識が高まった。			
		消防交通係	問題	多くの交通安全関係団体との連携のもと事業を実施しているが、各団体への効果的な支援や運営への助言・指導を検討していく必要がある。			
			対策	①継続 団体運営の効率化及び合理化の推進と、各団体への支援・助言に努めていく。			
			事業費	1,260	1,343	1,327	1,327
10			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
11			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
12			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
13			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
14			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
15			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
16			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
事業費の合計(千円)				30,990	180,271	338,716	74,152